

「南阿蘇鉄道」の現状についてお知らせします。

南阿蘇鉄道(南鉄)は、旧国鉄高森線が昭和56年、第一次廃線対象の特定地方交通線に指定されたことにより、バス転換案が示される中、地元の熱意により7町村(高森町、旧白水村、旧久木野村、旧長陽村、旧蘇陽町、西原村、大津町)の出資によって、昭和60年に設立し、翌昭和61年4月1日に南阿蘇鉄道として第三セクター鉄道として開業に至りました。



※「南阿蘇鉄道の経営基金状況」について

開業当初(昭和61年)から現在(平成29年3月)まで、南阿蘇鉄道の運営については、町村の負担および町村民から寄せられた寄付金・基金について一切使用せず、三セク発足時の旧国鉄からの補助金(転換交付金)の利子のみを活用し最小限の維持・修繕を行い運営しています。

南阿蘇鉄道の経営基金状況

○開業当初(昭和61年)

自治体基金				住民基金
転換交付金 (国→地元自治体)	町村負担金	県負担金	寄付金	住民基金 (南阿蘇村・高森町・山都町)
3億2,400万円	6,000万円	6,000万円	326万円	6,317万円

【特定地方交通線転換交付金】

転換交付金とは、国鉄から第3セクター『南阿蘇鉄道』への転換に要する初期投資(車両購入、整備等)や赤字補填のための補助金

【内訳】

高森町	2,166万円
旧白水村	1,455万円
旧長陽村	1,518万円
旧久木野村	786万円
旧蘇陽町	392万円

○現在(平成29年3月)

自治体基金				住民基金
転換交付金 (国→地元自治体)	町村負担金	県負担金	寄付金	住民基金 (南阿蘇村・高森町・山都町)
5,400万円	6,000万円	6,000万円	326万円	6,317万円

※転換交付金以外は、元金のみ(未使用)

〈問い合わせ〉南阿蘇鉄道株式会社 Tel(62) 1219
企画観光課 企画係 Tel(67) 2230